



SENAを
もっと

便利にしよう

TIPS Vol.5

Q インターコム通話中のためのペアリング手順などがむずかしくて…

A Meshインターコムならワンタッチです！

主な対応
モデル

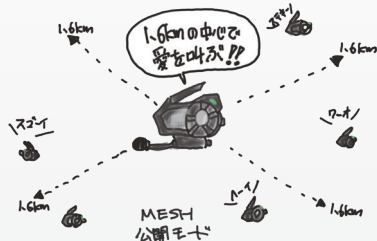
30K

Meshインターコム機能を使うメリットは？

従来のBluetoothインターコムの場合、自分と手をつなぐ相手と名刺交換のようなペアリングという「儀式」を事前に行う必要がありました。また、その相手が周囲にいなかったり、切れてしまったりすると、代わりの相手と自動的につながるようなことはありませんでした。そのため走行中に自分と手をつないでいる相手と切断されてしまうと、再び相手とつながるために気を取られてしまうこともありました。Mesh通信の場合、自分の通信範囲内に網を張る様にして自分に一番近いMesh通話相手を「捕まえ」、自律的に繋がろうとします。そのため、走行中の通話が格段に楽になりました。

どのような仕組み？

“Mesh”(網の目)という名の通り、自分の周囲に存在するMeshインターコム相手に自律的に網目状の通信網を作ってゆきます。Sena30Kの場合、2つのモードがあり、公開モード、およびプライベートモードの2種類があります。公開モードの場合は、自分を中心に大声でブロードキャスト(一斉配信)します。そのため、その声が届く通信範囲内にある全てのMeshインターコムがその声を聞きます。聞く相手に人数制限は生じません。



プライベートモードは、公開モード時にグループ参加を呼びかけて、それに応じた仲間とグループを作成、そのグループ同士でネットワークを作成します。走行中、常につながる相手を自動で切り替えながらフレキシブルに通信を行います。

使う場面は？

すぐに会話を始めたい場合、新しいツーリング仲間と出かける時など、公開モードは楽です。Meshボタンをタップするだけで、周囲のメッシュ仲間と自動的につながり会話を始めます。一方プライベートモードは、しっかりとメンバーを決めることができるため、メンバー内での会話を自由に楽しむことができます。また、プライベートメンバーでの会話を、周囲にブロードキャストすることもでき、会話する人と、それを聴きながら走る人という使い方(ゲストモード)もできます。

注意点は？

Meshは、自律的に常に繋がろうとするため、その分Bluetoothインターコムと比べ電力を多く消費します。30Kのスピード充電機能をうまく利用して、こまめに充電しながらお使いください。また、市街地などでは電波干渉を多く受けやすくなる場合があります、通信にノイズが入る場合は一度メッシュをオフにしてから再度オンにしてください。また常にアンテナを立てて走り、最新のファームウェアのバージョンにアップデートすることをお勧めします。